

防水形複層仕上塗材E 主材

アレスゴムタイルニューラフ

系 統 合成樹脂エマルション系複層塗材

適用規格 JIS A 6909 防水形複層塗材E 主材

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 各種下地への付着性が優れています。
- 2) 塗装作業性が優れています。
- 3) 長期耐久性が優れています。
- 4) クラック充填性が優れています。
- 5) 緻密で滑らかな肌を有しており、上塗り塗装時の
- 6) 仕上がり性(光沢感)に優れています。
- 7) ローラー塗装や吹付け塗装が可能で、仕上がり感がバリエーションに富んでいます。

塗装条件

塗装方法	多孔質ローラー	ベース吹き リシンガン	パターン吹き タイルガン		
希 釈 率	1～5%	3～10%	0～3%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.7～1.5	0.6～1.3	0.6～1.3		
希 釈 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃ パターン吹き	23℃ ベース吹き
標準塗装間隔	最 短	8 時間	2 時間
	最 長	7 日	7 日
使 用 時 限		—	—

ローラー工法 23℃ 工程内 最短4時間 最長7日
次工程 最短8時間 最長7日

塗料性状

	項 目	内 容
1	荷 姿	20kg
2	混 合 比	—
3	色	白
4	つ や	つや消し
5	仕 上 が り 感	凸凹状
6	塗 料 比 重	1.41
7	溶 剤 比 重	1.00(上 水)
8	加 熱 残 分	69%
9	劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11	有 機 則 / 特 化 則	—
12	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	非危険物
13	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

JIS A 6909 適用システム

防水形複層塗材E	下塗材:エコカチオンシーラー、 マルチタイルコンクリートプライマーEPO 主 材:本品 上塗材:アレス水性弾性アクリル、アレス水性弾性ウレタン、 アレス水性弾性シリコン

主な適用素材

コンクリート、モルタル、ALC板

主な適用下塗塗料

エポMシーラー、エコカチオンシーラー、マルチタイルコンクリートプライマーEPO、
アレス水性エポレジ

主な適用上塗塗料

アクアグロス、アレスアクアレタン、アレスアクアシリコンACⅡ、セラMレタン弾性、
アレス水性弾性アクリル、アレス水性弾性ウレタン、アレス水性弾性シリコン、
アレスアクアセラシリコン、アレスアクアセラフッソ、セラMシリコンⅢ弾性、
コスモマイルドシリコンⅡ弾性 等

使用上の注意事項

- 1) 低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)での塗装は避けてください。
- 2) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下
(ケット科学社製(H-2))または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリート
レンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 3) 塗装前には、漏水処理・クラック処理を行ってください。
- 4) 旧塗膜のチョーキング層は高圧水洗などで除去してください。
- 5) 旧塗膜の浮きは電動サンダーなどで除去してください。
- 6) 目違い・段差などは樹脂モルタルなどで補修してください。
(補修後はシーラーを塗装してください。)
- 7) 換気のよい場所での取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 8) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS
(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめ
ご了承ください。